

平成26年度「学校教育自己診断」の集計結果について

平成26年度は、前年度までの質問項目を見直し、精選するとともに、「わからない」という回答項目の追加等を行ったため、前年度までの数値との単純な比較はできませんが、大まかな傾向について記述します。

生徒及び保護者のアンケート結果では、全体として、おおむね肯定的な評価をいただきました。中でも、1「校風・校是を踏まえた、高津高校らしい授業や教育活動が行われている」、11（生徒）14（保護者）「記念祭をはじめとする学校行事やSSH・GLHSとして設定されている活動は充実している」という二つの質問に対する評価が高くなっています。

また、多くの生徒が部活動や学校行事等に積極的に参加していることを受けて、25「高津高校に入学して（させて）よかった。」という診断内容では、約90%の生徒及び保護者から高い評価をいただきました。

このように、多くの生徒が学校生活を満喫していると考えられます。今後とも、本校の良き伝統を継承しながら、GLHS及びSSHとしての特徴を出すべく、さまざまな教育活動を展開していきたいと考えています。

一方、生徒からの評価のうち、学習に関する診断内容3「授業は分かりやすく楽しい」の回答として「よくあてはまる」の値が、全学年の平均19%、特に1年生が11%という結果については、私たち教職員が“授業をもっとわかりやすく楽しく”してほしいという生徒からのメッセージとして真摯に受け止め、授業改善を行うなど、授業力の向上にさらに努めていきたいと考えています。

また、保護者の評価のうち、学校との相談や問題解決に関する診断内容15、16について、改善の余地があることがわかりました。生徒が抱える悩みや課題についての的確に対応できるよう、学校と保護者とのコミュニケーションをさらに密にしていく必要を感じています。

トイレ等の衛生面や施設設備等の学習面の環境について厳しい診断をいただいたことについては、限られた予算の中ではありますが、優先順位を決めながら、学習環境の充実について検討していきたいと考えています。

最後に、自由記述の中でご指摘いただきました、学習指導、生活指導、部活動等に関するコメントについては、教職員一同が共有し真摯に受け止めるとともに、それぞれを担当する分掌等を中心として、一つでも多く改善していくよう努力いたします。